

SAJ27 競第 746 号
平成 27 年 6 月 19 日

各加盟団体
ジャンプ・コンバインド競技担当者 様

公益財団法人全日本スキー連盟

競技本部長 古川 年正

ジャンプ部長 齊藤 智治

コンバインド部長 成田 収平



2015/2016 シーズン ジャンプ用ヘルメットに関するルールについて (通知)

平素より本連盟の強化に格別のご支援を頂き誠に有難うございます。

さて、FIS は、2014/2015 シーズンより選手の安全面を考慮し、ジャンプ用ヘルメットに基準を設けており、2014/2015 シーズンは、ラージヒルとフライングヒル種目においてこの基準を満たしたヘルメットの使用をルール化しておりました。

上記状況の中、今月開催された FIS の会議において、今シーズン (2015/2016 シーズン) より、全ての FIS 大会での当該基準を満たしたヘルメットの使用が決定しました。

※以下のシールが貼られているヘルメットのみが使用できます。



この件につきまして、日本国内のジャンプ用ヘルメットの流通状況を鑑み、本連盟ジャンプ・コンバインド両部において検討の結果、2015 年 11 月末日までを準備期間とし、2015 年 12 月から、国内開催の FIS 大会と SAJ 公認大会に出場する選手は、当該基準を満たしたヘルメットを使用しなければならないことといたします。

以上は、日本国内に限られた対応で、海外開催の FIS 大会は上記期日に関係なく、2015/2016 シーズン初めから当該基準を満たしたヘルメットを使用しなければなりません。

つきましては、各加盟団体所属のチーム、選手、コーチへの速やかなご連絡をお願い致します。